

## モーターサイクル&エンジン

主要製品

- 二輪車
- オフロード四輪車 (SxS・ATV)
- パーソナルウォータークラフト (PWC)
- 汎用エンジン

モーターサイクル&エンジンカンパニー  
 プレジデント  
 堀内 勇二



### カンパニービジョン

## Kawasaki, working as one の理念のもと、 パワースポーツ市場および汎用エンジン市場における 高付加価値の領域をメインフィールドとして成長し続けるメーカー

#### 機会

- 二輪車 ● 安定した先進国市場の需要とIoT活用、先進安全などの技術開発の進展
- 新興国市場の中長期的拡大
- 四輪車 ● 北米四輪車市場の拡大
- 汎用エンジン ● 米国住宅市場の拡大による堅調な成長

#### リスク

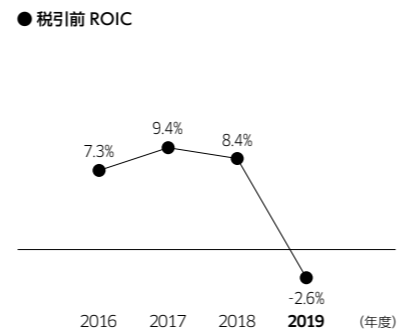
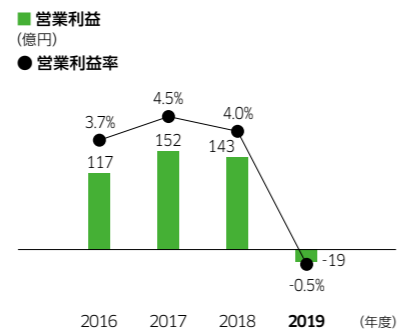
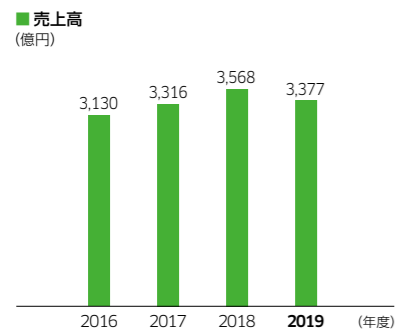
- 二輪車 ● 新興国市場における価格競争の激化
- 環境規制の強化
- 四輪車 ● 価格競争の激化
- 米中貿易摩擦の激化に伴う資材価格や関税率の上昇
- 共通 ● ウイルス感染拡大による消費の落ち込みや景気後退

#### コアコンピタンス

- 「Ninja」「Z」「MULE」「TERYX」などの差別化された高いブランドイメージ
- 世界トップ水準の製品開発力
- 高性能・高品質な製品を開発・生産する技術力
- グローバルな生産・販売・サービス体制

#### 事業運営方針

- Newモデルの投入、モデルラインアップの拡充などによる製品競争力の向上
- 販売価格の上昇、コストダウンなどによる限界利益率の改善および開発・生産・販売固定費の抑制
- 在庫適正化の推進などによるフリーキャッシュ・フロー向上
- 他社との積極的な協業や事業提携



### 事業環境と戦略

新型コロナウイルス感染拡大により、当社の主要市場である欧米や東南アジアでは先行き不透明な状況が継続しています。また、米中貿易摩擦を背景とした資材価格の上昇や関税率の上昇、新興国メーカーの参入などにより各市場で厳しさが増しており、収益力の向上が課題となります。

このような事業環境の中、当社は顧客のニーズを予見し、世界最高水準の製品開発力と「Ninja」「Z」「MULE」「TERYX」などの差別化されたブランドイメージを活かして、競争力の高い魅力的なモデルをスピーディーに市場に投入するとともに、CRM\*推進などによりプレミアムブランドイメージの定着を図ります。また、グローバルに点在する経営資源を全体最適の観点から統制・効率化する体制の確立・強化に向けた取り組みの実施など、各種戦略を実行することで財務基盤の強化(営業利益率の向上、フリーキャッシュ・フローの増大など)を図ります。

\* CRM: カスタマー・リレーションシップ・マネジメント

### 社会価値を創出する取り組み

モーターサイクル&エンジンカンパニーでは、2030年の目指す姿を、「走る喜び・操る楽しさ」と先進的なライダーサポート機能を有するモーターサイクル、およびクリーンなモーターサイクルを開発・製造・販売することと定めています。その実現に向けて、「Fun to Ride (走る喜び、操る楽しさ)」「Ease of Riding (乗りやすさ)」「環境性能向上」を製品開発の基本理念とし、モーターサイクルの性能向上、ライダーサポート機能の充実、排ガス・騒音などの環境規制対応に取り組んでいきます。C-ITS\*などの先進的なライダーサポート機能に対応したモーターサイクルの早期販売を目指しています。また、電動バイクやハイブリッドバイクなどクリーンエネルギーで駆動するモーターサイクルに関しては、将来展開に向けた試作車の製作と機能評価を行っていきます。

\* C-ITS: Cooperative Intelligent Transport Systems



|              |   |
|--------------|---|
| 2021年度までの達成像 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 通信機能を備えたコネクテッドモーターサイクルの上市による、快適かつ便利な移動の実現。ライダー支援機能の採用による安心なライディングの提供</li> <li>● 欧州の厳しい排出ガス規制をはじめとした各国の環境規制のクリア</li> <li>● 各年度における新規モデルの前モデルからのWMTC*燃費向上率(世界統一基準): モデル平均1.5%以上</li> </ul> <p>* WMTC: Worldwide-harmonized Motorcycle Test Cycle</p>   |
| 2019年度の実績    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2020年モデル: Ninja 1000SX・Z900・Ninja 650・Z650に新たにスマートフォン接続機能を設定し、対応モデルを7機種に拡大。公式アプリケーション「RIDEOLGY THE APP」により、スマートフォンを使ってライディングモードの設定や車両の状態確認を行えるようにすることで、快適な移動や利便性の向上を実現</li> <li>● 2019年度に生産開始の新規7モデル(Z H2・Ninja 1000SX・Z900・W800・Ninja 650・Z650・KLX230)にて、WMTC燃費向上率1.4%(7モデル平均)を達成</li> <li>● 高出力低燃費を実現した大型二輪車用過給エンジンを搭載したZ H2を上市</li> </ul> |



TERYX KRX 1000



Z H2